

おしらせなど

関西チヌ釣研究会会長 河野靖忠

もう6月の中旬、天気予報では近畿も関東も入梅を宣言。例年ではありますが6週間から7週間うとうしい日々が続きます。皆さん体調はいかがですか、これからの季節昼と夜の温度差と湿度の高さから体調を崩しやすく又風邪を引きやすくなりますから注意してください。

さて 5月のデイリースポーツ杯、今年度は例年になく土曜日、日曜日、火曜日共形は少し小さくはなりましたが数は多く大漁と云えるのではないのでしょうか。私は連盟の役処の都合で予選15日(火曜日)、決勝20日(日曜日)にも出席しましたが、関西チヌ研が決勝に1人も残らなかつたのが残念でなりません。私が大量に用意した優勝賞品の数々は斉藤渡船常連の人々や、さわやかななどの他のクラブに全部持って行かれました。深く考えれば私の責任に帰することなのですが、そう云うこともあって山川班長を指導者とし、それにふさわしく副会長の任をお願いしました。指導者、教官などはどこかの宗教を思い起こさせるキライがありますので英語で(Instructor)インストラクター。関西チヌ釣研究会インストラクター山川 桂はどうでしょうか。彼の殊にチヌ釣研究熱心は特別なものがあります。そして今年はそのインストラクターの技術を伝授していただくために講習会を実施したいと思っております。この秋都合の良い日と考へておりますので休会中の皆さんも含めて必ず出席してください。最近高くなった撒餌さの配合なども伝授いたしますよ私のよければ。必ず価値ある1日になる事請け合いです。

ついでではありますが第553回6/5三尾川大会の結果もこの紙面で報告いたします。当日は台風の前と云うこともあって海が荒れることの心配がありましたが波は至って穏やかで、ただ雨はしとしと肌寒く歳のせいかな私にはうれしくない天気。参加者は山川副会長、田邊会計、松元班長、それに私ですから全員役員と云うことになりました。くじは①番の田邊会計と山川副会長が手前の筏、前に8匹釣れたと云う実績のある筏。④番のくじを引いた私と松元班長は沖から2番目の筏。潮は昼迄は下げで衣奈方面に激しく流れます。餌取は鯛の赤ちゃんでしょうか、10~20cmの鯛をチャリコいいますがそれにはとても及ばない3cm位。松元班長もしきりにそれを掛けています。そのほかには60cmもあるボラ。ボラはどの餌でも吸い込みますので釣たくなくても釣らなくては仕方ありません。松元班長はシラサエびでも大きな当たりでボラを釣上げており、私もハリス 1.75号ですから強引に引き上げます。二人で何匹釣上げたことでしょうか。チヌは私の餌が気に入ったのでしょうか9時を過ぎて3匹たて続けに、35円のボケ20匹のほとんどはフグに食べられ、2キロ買った貝は丸貝に向きそうな小さな物ばかり、大きい貝をむき身にして4号の鉤に刺します。フグはこの貝も好きですから団子から抜けるとしきりにつつき、これはチヌの当たりによく似ており少し押さえる当たりは合わせなくてはなりません。このフグも何匹釣上げたか数も数えたくありませんがそんな中このフグに似た当たりでチヌもかかります。オキアミの場合は鯛の赤ちゃんが寄ってきてつつきますから小さく早い当たり4~5回でオキアミは無くなりますのですぐに手繰り上げます。そんなこんなで午前中に7匹、餌の割合はオキアミ7割、むき身3割でしょうか。潮は下げで(衣奈方面に流れる)早いので団子から抜けると短時間の勝負になります。団子を落とすと相変わらずボラがつつきますからころあいをみて団子からオキアミを抜いてずらして当たりを待ちます。午後は上げ潮になり前方沖合から筏の下へ流れますから少し釣りづらいのですが数センチ押さえる当たりを拾い、最終3時過ぎ1匹追加して計10匹よく釣れたものです。今日は4人全員ポーズなしで三尾川はこれから水温の上昇と共にヘダイなどと共に大漁の期待がもてるでしょう。ちなみに筏の周りを30~40cmのカンパチ(上から見ると黄色ぽく見える)が2匹連れ持とうろうろ、オキアミは食べません、生きたアジでもあればひょっとして? 当日の水温21度この時期としては少し遅れておりますがこの三尾川では水温25度位になれば外道ではありますが美味しい魚がチヌに混じるようになりますのでこれから先楽しみな釣場です。それからチヌ1匹をさばき皮や骨など取り除き揚げて南蛮漬けで頂きました。チヌのお腹にはまだ卵が残っており産卵の途中なのでしょうか? やはり今年は水温が低いですがこれから期待しましょう。

匹数優勝 32.5~44.2 計10匹 河野 長寸優勝 46.5cm 山川 長寸2位 37.5cm 田邊  
引数2位 36~37.5 2匹 松元 尚 山口渡船のホームページには写真もあります。

